

令和6年度 港区立幼稚園全園で取り組む「すくわくプログラム」

目的

- ・心が動く様々なもの・人・こととの出会いの中で幼児が探究する姿を捉える
- ・友達や教師との関わりの中で探究する過程を捉える
- ・幼児期にふさわしい形で、幼児に探究心や人と関わる力などの資質・能力を育む

キーワード 好奇心・興味や関心・試行錯誤・目的意識・協同・予測・発見・工夫 など

【発達の段階を踏まえた幼児の姿の例】

- 遊びの中で考えたり試したりして実現
- 過去の経験を生かし、必要な材料や用具を自分で選んだり探したりする
- 他児と協力
- 友達の言動に刺激を受け、新たな課題の発見、新しい方法の試行
- 目的への見通しをもって活動

【教師の関わりの例】

- 幼児が自ら気付くのを待つのか、気付くヒント（声掛け／道具等をさりげなく見せる等）を与えるのか、状況に応じて対応
- 幼児が自分で見つけられるようにものを準備
- 興味や関心が広がるように、道具の種類は豊富に（精選して）準備。
- 「どうしたらいいかな」など幼児自身に考えさせるような教師の声掛け

各園の探究のテーマ

自然との関わり

園庭の自然との関わり

光と影



海

音

活動事例

「戸外で 風をとらえて遊ぶ」

環境をデザインする



○身近な材料、過去に経験したことのある材料を机上に置く、また、作業用机で切ったり、組み合わせたたりできるように用具（ハサミ、セロファンテープ等）を置く
大きさが様々なビニール袋、レジ袋、紙袋、スズランテープ、紙テープ、凧ひも、筒、紙芯、広告紙新聞紙、広告紙、不織布、プラカップ、空き箱、輪ゴム、緩衝材、ペットボトルキャップ、バケツに入った水

探究活動を実践する



○風を集める：ビニール袋を持っていたら風が入ってきた。見えない風を持つことができた。大きなビニール袋は、入れながら動いて行くと抵抗を感じた。「風がいっぱいだと重いよ！」と5歳児。



○風には力がある：いろいろな容器や材料を手に取り、置いていたところ「動いていく！」と風のものでものが動くことが分かる。いろいろな容器や材料を組み合わせ、置くことを試す。「風は力持ち」と4歳児。

振り返りを踏まえた気付き

○幼児に「風は見えない」が、「風に見えるようにするにはどうしたらよいか、捕まえるには・・・感じるには・・・」と投げかけた。幼児は様々な用具や材料、自分の諸感覚を使い風に対し考え、探究する姿が見られた。そして、いろいろな気付きが生まれた。

○幼児が様々な材料（環境）を試すことが探究につながるきっかけになった。教師が「幼児の気付き」に気付くことで認め、励まし、意味付けする援助をすることが幼児の豊かな体験につながった。